

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社スーパー大栄

上場取引所 福

コード番号 9819

URL <http://www.superdaiei.com>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)中山 勝彦

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長

(氏名)阪本 博美

(TEL) 093(602)2770

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,437	△4.9	△106	—	△112	—	△114	—
26年3月期第1四半期	5,716	△5.8	△20	—	△25	—	△33	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△12.77	—
26年3月期第1四半期	△4.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,989	3,389	33.9
26年3月期	9,789	3,490	35.7

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,389百万円 26年3月期 3,490百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	0.2	30	—	10	—	10	—	1.11
通期	23,500	2.1	130	—	100	—	100	—	11.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期1Q	8,972,000株	26年3月期	8,972,000株
27年3月期1Q	8,926株	26年3月期	7,806株
27年3月期1Q	8,963,926株	26年3月期1Q	7,193,779株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(業績の推移) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に消費税率の引き上げによる駆け込み需要の反動が見られたものの、日本銀行の積極的な金融緩和政策などの効果により、全般的に緩やかな回復基調となりました。

このような状況の中、当社では平成26年1月31日の株式会社イズミとの資本業務提携締結後、共同仕入れの実施をはじめとして、惣菜や生鮮、経営管理、マーケティング等における人材交流や物流、販促、資材購入の協力等、様々な分野で関係強化に努めてまいりました。

また、店舗競争力向上に向けた売場活性化策として、平成26年5月にD&D行橋店、6月には香月西店とフレッシュ8エブリイ本城店を其々改装し、惣菜部門と鮮魚部門を中心に店舗の活性化を図ってまいりました。

当社では今後も、営業力強化と収益力増強を図るため、既存店の改装を積極的に実施していく方針ですが、店舗改装においては、改装費用が先行投資となり、改装効果は徐々に出てくるものと思われまます。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は5,437百万円(前年同四半期比4.9%減)、営業損益は106百万円の営業損失(前年同四半期は20百万円の営業損失)、経常損益は112百万円の経常損失(前年同四半期は25百万円の経常損失)となり、四半期純損益は、固定資産除却損の計上等により、114百万円の四半期純損失(前年同四半期は33百万円の四半期純損失)となりました。

なお、事業部門別売上高は次のとおりであります。

事業部門	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		前年同四半期 増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品	3,215	56.2	3,212	59.0	△0.1
一般食品	1,917	33.5	1,735	31.9	△9.5
日用雑貨	187	3.3	145	2.7	△22.3
その他	340	6.0	301	5.5	△11.4
計	5,659	99.0	5,394	99.2	△4.7
その他の事業	56	1.0	43	0.8	△23.2
合計	5,716	100.0	5,437	100.0	△4.9

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前期末比199百万円増加し、9,989百万円となりました。

流動資産は、前期末比86百万円増加し、1,977百万円となりました。これは、現金及び預金が31百万円増加したことや、繰延税金資産が23百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前期末比113百万円増加し、8,012百万円となりました。これは、繰延税金資産が20百万円減少したものの、既存店活性化に伴うD&D行橋店やフレッシュ8エブリィ本城店の改装など総額210百万円の設備投資を行ったものによります。

流動負債は、前期末比440百万円増加し、4,591百万円となりました。これは、短期借入金が125百万円減少したものの、未払金が276百万円、買掛金が206百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前期末比139百万円減少し、2,008百万円となりました。これは、長期借入金が130百万円減少したことなどによります。

純資産は、前期末比101百万円減少し、3,389百万円となりました。これは、四半期純損失114百万円を計上したことなどによります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現在、営業力強化と収益力の増強を図るため、既存店の改装を積極的に実施しております。しかし、店舗改装においては、改装費用が先行投資となるため、現時点における業績予想の算定は正確性を欠く恐れがあります。よって、今回の業績予想の修正は行っておりません。

なお、数値が確定し、適時開示基準に該当した場合は速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法につき期間定額基準を継続適用するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

当該変更による損益等への影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,164,122	1,195,592
売掛金	4,038	5,732
商品	617,526	624,243
その他	105,058	151,489
流動資産合計	1,890,745	1,977,059
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,975,734	2,983,586
土地	3,261,793	3,261,793
その他(純額)	495,801	620,900
有形固定資産合計	6,733,329	6,866,280
無形固定資産	126,350	122,719
投資その他の資産	1,039,527	1,023,781
固定資産合計	7,899,206	8,012,781
資産合計	9,789,952	9,989,840
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,237,707	1,444,566
短期借入金	1,650,000	1,525,000
1年内返済予定の長期借入金	604,000	572,000
未払法人税等	15,557	8,510
賞与引当金	31,000	105,000
ポイント引当金	9,584	9,584
店舗閉鎖損失引当金	4,099	2,549
その他	598,777	924,126
流動負債合計	4,150,725	4,591,336
固定負債		
長期借入金	972,000	842,000
退職給付引当金	685,825	685,512
役員退職慰労引当金	106,804	108,461
その他	383,672	372,677
固定負債合計	2,148,301	2,008,651
負債合計	6,299,027	6,599,988

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,798,236	1,798,236
資本剰余金	1,747,275	1,693,008
利益剰余金	△54,266	△114,550
自己株式	△1,583	△1,745
株主資本合計	3,489,661	3,374,949
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,263	14,903
評価・換算差額等合計	1,263	14,903
純資産合計	3,490,924	3,389,852
負債純資産合計	9,789,952	9,989,840

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,716,137	5,437,518
売上原価	4,528,809	4,199,879
売上総利益	1,187,328	1,237,638
営業収入	91,461	94,997
営業総利益	1,278,789	1,332,636
販売費及び一般管理費	1,298,940	1,439,202
営業損失(△)	△20,150	△106,565
営業外収益		
受取利息	863	794
受取配当金	2,522	2,182
その他	2,783	1,863
営業外収益合計	6,168	4,840
営業外費用		
支払利息	11,426	10,509
その他	242	431
営業外費用合計	11,669	10,940
経常損失(△)	△25,651	△112,665
特別利益		
固定資産売却益	22	1,350
投資有価証券売却益	1,708	-
受取保険金	46	2,146
特別利益合計	1,777	3,496
特別損失		
減損損失	15,594	-
固定資産除却損	3,964	6,126
その他	37	205
特別損失合計	19,596	6,332
税引前四半期純損失(△)	△43,470	△115,501
法人税、住民税及び事業税	4,011	4,010
法人税等調整額	△13,564	△4,961
法人税等合計	△9,552	△951
四半期純損失(△)	△33,917	△114,550



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(業績の推移)

(百万円未満切捨て、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期 第1四半期	6,844	△4.7	△17	—	△25	—	△21	—
24年3月期 第1四半期	6,420	△6.2	△13	—	△19	—	△29	—
25年3月期 第1四半期	6,068	△5.5	27	—	23	—	△22	—
26年3月期 第1四半期	5,716	△5.8	△20	—	△25	—	△33	—
27年3月期 第1四半期 (当第1四半期)	5,437	△4.9	△106	—	△112	—	△114	—
	5期連続減収		2期連続営業損失		2期連続経常損失		5期連続四半期純損失	